

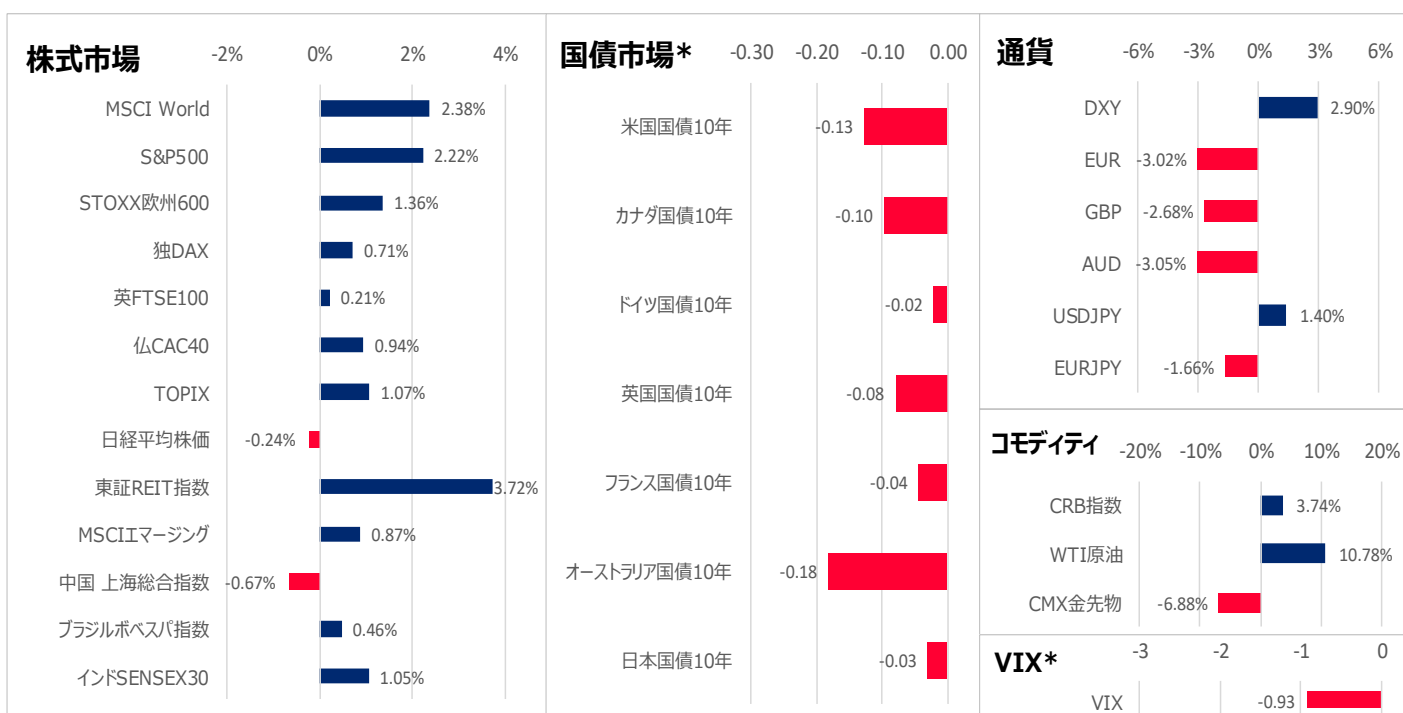
# マンスリーレビュー&アウトルック

2021年7月

## 2021年6月の市場概況

- 米利上げ前倒しに対する懸念から一時的にグローバル株は下落したが、景気腰折れを招くような主要国の金融政策の変更はないとの見方から堅調な地合いが継続。先進国では、米長期金利の低位安定を材料に**米NASDAQ指数の上げ幅が拡大**。
- 米国では、FOMC後に**早期利上げへの警戒感から中短期国債利回りが上昇**する一方、早期利上げはインフレ加速の抑制に繋がるとの見方から**長期国債利回りは低下**。米国長期国債利回りの低下に連れて、ドイツや日本などの長期国債利回りも小幅低下。
- 良好な経済指標や早期利上げ期待から米ドルは主要通貨に対して堅調に推移**。ドル円は下旬にかけて昨年3月以来の111円台を付けた。ユーロ円は、米ドル高の動きから下旬にかけて130円近辺に円高が進行したが、リスク選好の動きから月末にかけては132円台に値を戻した。
- 米国の需要回復やイラン情勢の不透明感などを支えに**原油価格はしっかり**。リスク選好の動きや米国の利上げ前倒し懸念などから、**金価格は急反落**。暗号資産の乱高下は続いたものの、米国株が総じて堅調に推移したことで、VIX指数は昨年2月以来の水準に低下。

## 2021年6月（5/31～6/30）のグローバル市場動向



※前月末比騰落率、\*は騰落幅

## 株式

## プラス要因



- 新型コロナウイルスワクチン普及による経済活動の正常化
- 米国長期金利の安定推移
- 企業業績見通しの改善

## マイナス要因



- 東京オリンピック開催に伴う新型コロナ変異種ウイルスの感染拡大
- 世界的なインフレ加速
- 中国経済の減速

	2021/6/30	過去1か月	3か月	年初来
MSCI World（現地通貨建て）	9,945.82	2.38%	7.72%	14.47%
S&P500	4,297.50	2.22%	8.17%	14.41%
STOXX欧州600	452.84	1.36%	5.41%	13.49%
独DAX	15,531.04	0.71%	3.48%	13.21%
英FTSE100	7,037.47	0.21%	4.82%	8.93%
仏CAC40	6,507.83	0.94%	7.26%	17.23%
TOPIX	1,943.57	1.07%	-0.53%	7.70%
日経平均株価	28,791.53	-0.24%	-1.33%	4.91%
東証REIT指数	2,150.73	3.72%	6.84%	20.56%
MSCIマーキング（現地通貨建て）	183,924.70	0.87%	3.90%	8.08%
中国 上海総合指数	3,591.20	-0.67%	4.34%	3.40%
ブラジルボベスパ指数	126,801.70	0.46%	8.72%	6.54%
インドSENSEX30	52,482.71	1.05%	6.01%	9.91%

**国内株式：**米国の早期利上げ懸念から下旬にかけて一時急落したが、企業業績の改善期待や米国株が連日で最高値を更新した動きに連れて値を戻した。欧米株と比較して出遅れ感が強いことや世界的なリスク選好の動きが下値を支えると見ているが、日本の経済成長力の弱さや中国経済鈍化の影響などから、上値の重い展開が続く見通し。

**米国株式：**インフレ加速の警戒感が和らぎ長期金利が低位で推移したことを好感し、グロース株が主導して下旬以降のS&P500とNASDAQ総合指数は最高値更新が続いた。高値警戒感が広がっているが、好調な企業業績やグローバル経済の正常化期待などを背景にしたリスク選好の動きから、米国株は上値を迫る展開を想定。

**欧州株式：**総じて堅調に推移した。米国の早期利上げ懸念から調整する場面もあったが、欧州中央銀行（ECB）の金融緩和スタンスの継続や原油価格の上昇などを背景に欧州株は上昇。米国株と比較した欧州株の出遅れ感や経済活動正常化による業績回復期待、金融緩和策の継続により、欧州株は上昇基調の継続を見込む。

**新興国株式：**米国の早期利上げ懸念を背景に下げ幅を拡大する場面があったが、欧米株の最高値更新などリスク選好の動きに変化はなく、新興国株は上昇。グローバル経済の回復による企業の高成長期待は根強いが、一部新興国で進む利上げの影響や中国経済の鈍化懸念などから新興国株は上値の重い展開を想定。

# 債券

## プラス要因

- マーケットを意識した金融政策の継続
- 新型コロナ変異種ウイルスの感染拡大とグローバル景気の急減速
- 中国経済減速による世界経済への悪影響

## マイナス要因

- 新型コロナウイルス感染沈静化に伴う経済活動早期正常化と景気過熱
- 米インフラ投資計画実施による景気過熱
- 新興国などグローバルでのインフレ圧力増大

	2021/6/30	過去1か月	3か月	年初来
(国債利回り)	(利回り %)		(利回り騰落幅)	
米国国債10年	1.47	-0.13	-0.27	0.55
カナダ国債10年	1.39	-0.10	-0.17	0.71
ドイツ国債10年	-0.21	-0.02	0.09	0.36
英国国債10年	0.72	-0.08	-0.13	0.52
フランス国債10年	0.13	-0.04	0.17	0.47
オーストラリア国債10年	1.53	-0.18	-0.26	0.56
日本国債10年	0.06	-0.03	-0.04	0.04
		(トータルリターン…騰落率、スプレッド…騰落幅)		
USD投資適格社債_トータルリターン		1.97%	4.08%	-1.72%
USD投資適格社債_対米国債スプレッド	+0.87	-0.05	-0.11	-0.15
USDハイイールド社債_トータルリターン		1.34%	2.74%	3.62%
USDハイイールド社債_対米国債スプレッド	+2.68	-0.28	-0.42	-0.92

※対米国債スプレッドとは米国債との利回り格差

**日本国債：**米長期金利の動きに連れて、10年国債利回りは小幅に低下した。ワクチンの普及に伴うグローバル経済の正常化期待は高いものの、国内の経済成長力の弱さやデフレ圧力の強い現状からBOJの金融政策に変更余地は乏しく、10年国債利回りはゼロ%近辺での継続を想定。

**米国債：**6月に発表されたインフレ指標も市場予想を上回ったが、インフレ加速はピークアウトするとの見方が広がった。FOMCでは早期利上げが意識されたものの、早期利上げがインフレを抑制するとの見方から、米10年国債利回りは低下基調で推移した。景気過熱への警戒感や早期利上げを材料とした売り圧力は継続するが、インフレ加速懸念が和らいでいることなどから、レンジ内での推移を見込む。

**欧州債：**好調な経済指標から欧州圏のインフレ加速懸念が高まったが、ECB理事会が現行スタンスを維持したことや、米長期金利が低下基調で推移したことを受け、欧州国債利回りも小幅に低下。今後も経済正常化に向けた動きやインフレ圧力の高まりが売り材料視されようが、足元で新型コロナウイルスインド型（デルタ株）の感染拡大が広がっていることや、ECBによる量的緩和スタンスの長期化見通しから欧州国債利回りは小幅上昇に留まろう。

**新興国ドル建て国債：**新興国ドル建て国債のスプレッドはほぼ横ばいであったものの、基準となる米国債利回りの低下からプラスリターンとなった。原油など資源価格の上昇が好感されたサウジアラビアやメキシコなどの上昇が牽引した。足元のインフレ加速懸念や新型コロナウイルス感染者数増加には留意が必要だが、リスク選好の動きからスプレッドの縮小基調が継続する見通しに変化はなく、グローバル新興国ドル建て国債は総じて堅調な展開を想定する。

# 通貨等

- 米ドル  
プラス要因**
- 新型コロナウイルスワクチンの普及による経済正常化
  - 早期利上げに対する意識の高まり
  - バイデン政権の景気刺激策実施による米国経済加速
- 米ドル  
マイナス要因**
- 新型コロナ変異ウイルスの感染拡大
  - 中国経済鈍化によるグローバル経済の悪影響
  - ECBによる金融政策正常化の前倒し

	2021/6/30	過去1か月	3か月	年初来
DXY	92.44	2.90%	-0.85%	2.78%
EUR	1.1858	-3.02%	1.09%	-2.93%
GBP	1.3831	-2.68%	0.35%	1.18%
AUD	0.7498	-3.05%	-1.32%	-2.55%
USDJPY	111.11	1.40%	0.35%	7.61%
EURJPY	131.75	-1.66%	1.46%	4.41%
CRB指数	213.39	3.74%	15.37%	27.17%
WTI原油	73.47	10.78%	24.19%	51.42%
CMX金先物	1,771.60	-6.88%	3.37%	-6.52%
VIX*	15.83	-0.93	-3.57	-6.92

\*期間騰落は変化幅

**米ドル**：5月の米雇用統計が市場予想を下回ったことで金融緩和長期化期待が高まったが、FOMCでは23年中に2回の利上げが示唆されたことでドル高が進行。ドル円レートは、下旬にかけて昨年3月以来の111円台を付けた。今後も米国の早期利上げに対する意識の高まりが想定されるものの、欧州や新興国経済の回復期待から、米ドルはレンジ内での推移を見込む。

**ユーロ**：欧州経済の回復などを材料に月半ばまでは横ばい圏で推移したが、米国の早期利上げへの警戒感などから下旬以降はユーロの対ドルレートは下落幅が拡大。ユーロドルの動きに連れユーロ円レートも一時130円近辺にユーロ安が進行した。6月のECB理事会でハト派姿勢が維持されたこともユーロ安要因となったが、今後のユーロ圏経済の力強い回復期待からユーロの緩やかな上昇基調は維持されよう。

**原油**：米国の行動制限緩和を受けたガソリン消費量の増加期待や、国際エネルギー機関（IEA）が2022年末までに石油需要がコロナ前の水準を回復するとの見通しを発表したことなどを材料に堅調な地合いが継続。今後もグローバル経済の正常化による需要拡大や、中東情勢の不透明感などを背景に堅調な地合いを想定する。

**金**：米国で金融政策の早期正常化懸念が広がり、米ドルの上昇とともに金価格は下げ幅を拡大した。下旬以降は、米長期金利が低位で推移したことから安値圏でもみ合う動きとなった。暗号資産の乱高下が続いていることや米長期金利の落ち着きが下値を支えようが、リスク選好の動きから金は上値の重い展開を想定する。

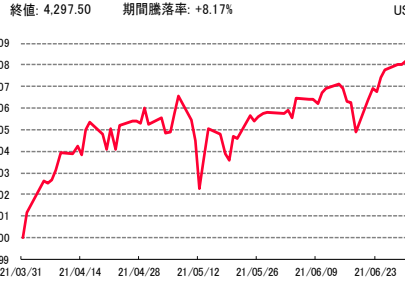
# appendix

# 株式

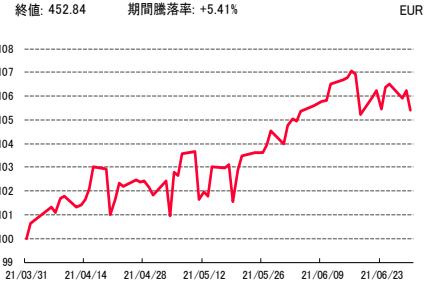
## 1. MSCI World 株式



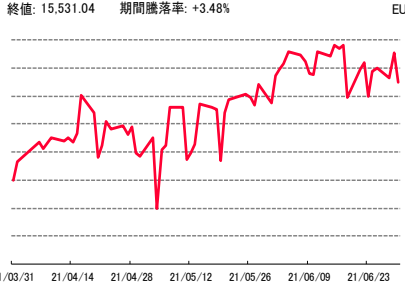
## 2. S&P500 株式



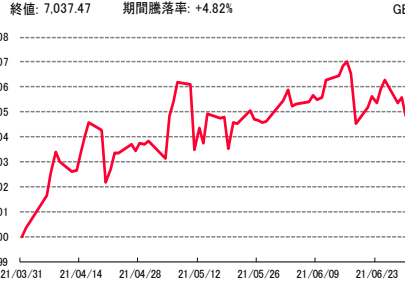
## 3. STOXX欧州600 株式



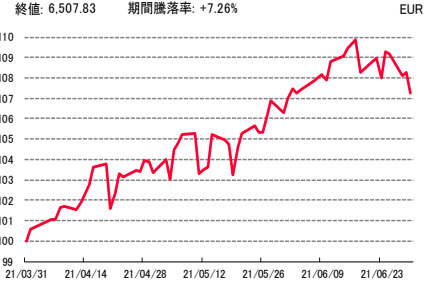
## 4. 独DAX 株式



## 5. 英FTSE100 株式



## 6. 仏CAC40 株式



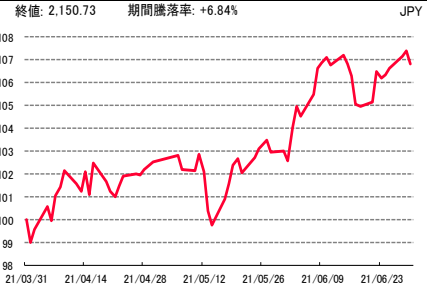
## 7. TOPIX 株式



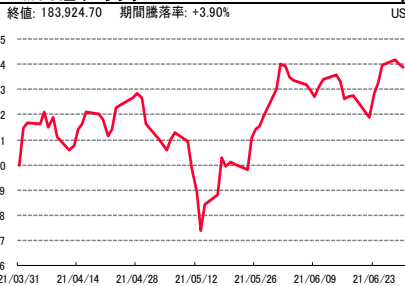
## 8. 日経平均株価 株式



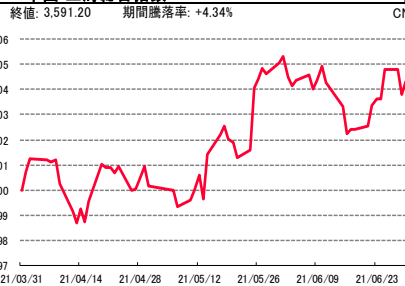
## 9. 東証REIT指数 株式



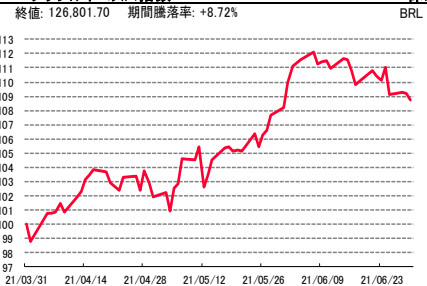
## 10. MSCIマージン 株式



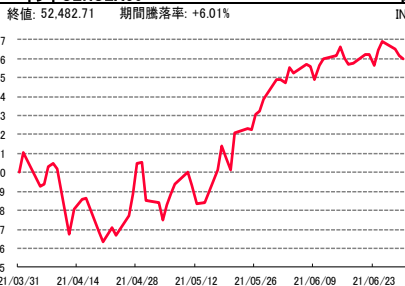
## 11. 中国 上海総合指数 株式



## 12. ブラジルボババ指数 株式



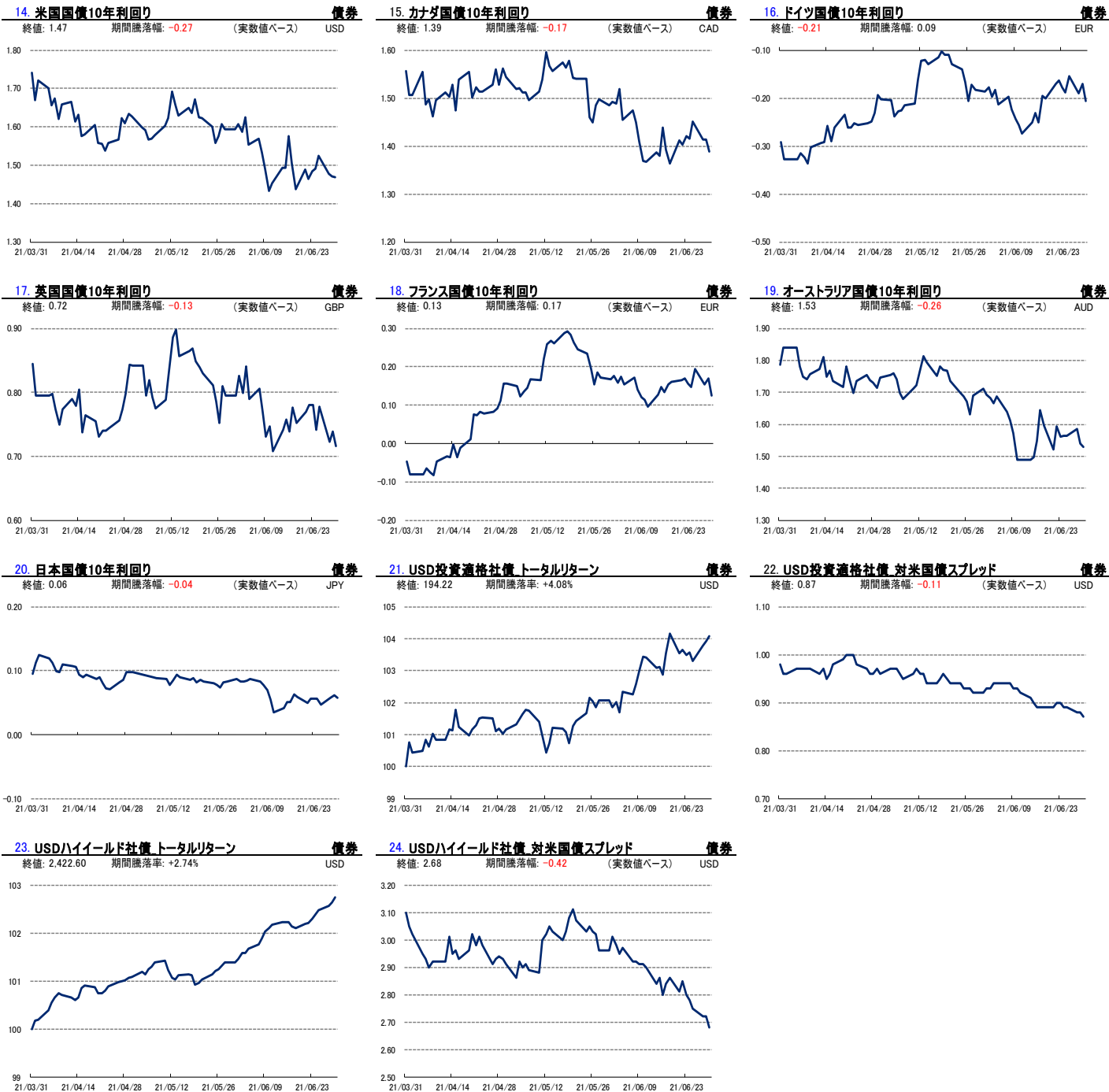
## 13. インドSENSEX30 株式



※ 直近3カ月（2021年4月～2021年6月）の日足チャートです。起点（2021年3月末日）を100として指数化しています。  
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。  
 ※ プルームバーグデータをもとに弊社作成。

# appendix

# 債券

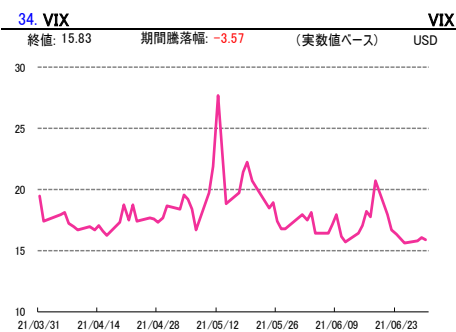
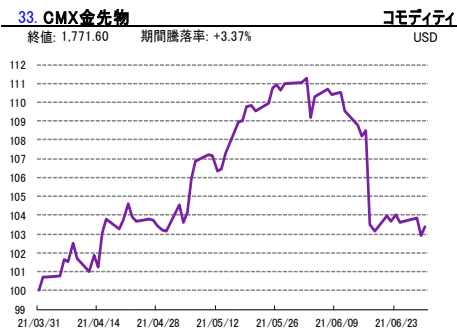
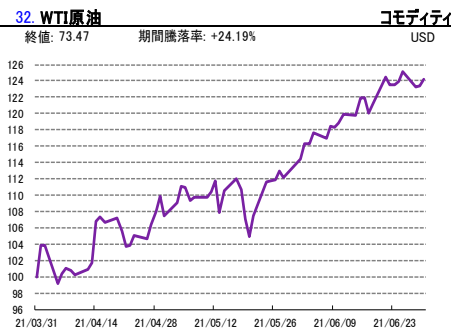
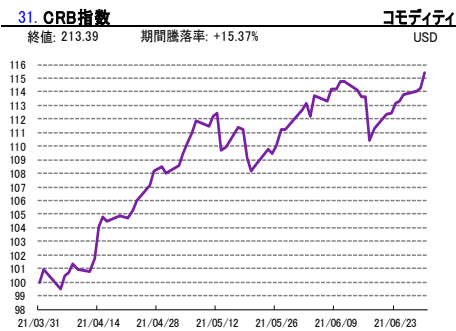
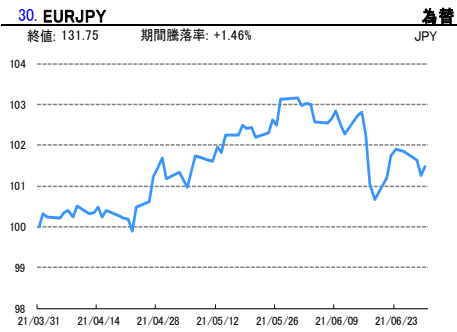
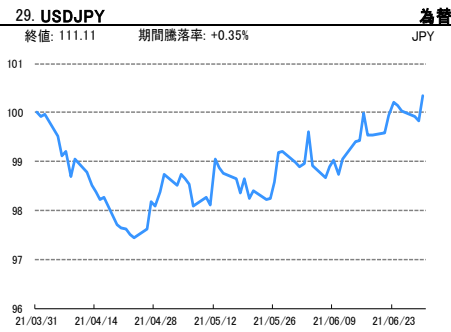
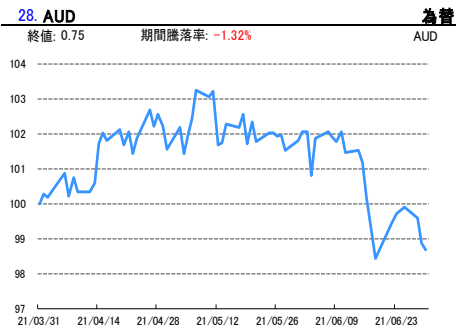
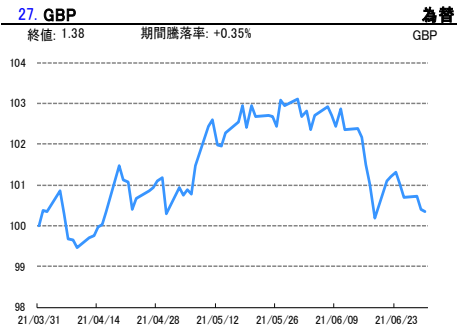
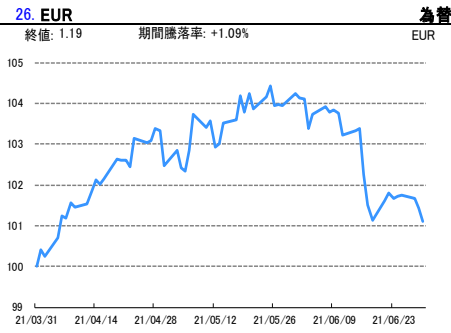
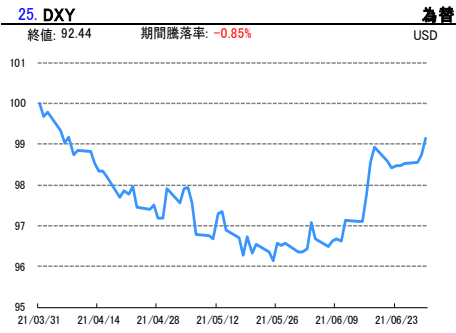


※ 直近3か月（2021年4月～2021年6月）の日足チャートです。起点（2021年3月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。  
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。  
 ※ プルームバークデータをもとに弊社作成。



# appendix

# 為替/コモディティ/VIX



※ 直近3か月（2021年4月～2021年6月）の日足チャートです。起点（2021年3月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。  
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。  
 ※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

## 当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてPayPayアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。

使用している指数は以下の通り（すべて現地通貨建て）

### 【株式】

MSCI World : MSCIワールド・グロス・トータルリターン・インデックス、S&P500 : S&P500種株価指数、STOXX欧州600 : STOXX Europe 600種株価指数、独DAX : ドイツDAX指数、英FTSE100 : イギリスFTSE100指数、仏CAC40 : フランスCAC40指数、TOPIX : 東証株価指数、MSCIエマージング : MSCIエマージング・グロス・トータルリターン・インデックス、中国 上海総合指数 : 中国 上海総合指数 (Shanghai Stock Exchange Composite Index)、ブラジルボベスパ指数 : ブラジル ボベスパ指数 (Ibovespa Index)、インドSENSEX30 : S&P BSEセンセックス指数 (S&P BSE Sensex Index)

### 【債券】

USD投資適格社債\_トータルリターン : Bloomberg Barclays米ドル建て投資適格社債トータルリターン・インデックス、USDハイイールド社債\_トータルリターン : Bloomberg Barclays米国米ドル建てハイイールド社債トータルリターン・インデックス

### 【為替等】

DXY : 米ドル・インデックス、EUR : ユーロ/米ドル 為替スポット、GBP : 英ポンド/米ドル 為替スポット、AUD : オーストラリアドル/米ドル 為替スポット、USDJPY : 米ドル/円 為替スポット、EURJPY : ユーロ/円 為替スポット、WTI原油 : WTI原油先物価格1番限、CMX金先物 : COMEX金先物価格1番限、VIX : CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

出所 : ブルームバーグ